

平成18年度ほおづえ会総会報告

平成18年8月13日、ほおづえ会総会が開催され、以下の議案について承認されました。

<平成17年度決算報告>

収入の部		支出の部	
・会費(正)	237,000	・総会費	61,150
・会費(準)	205,000	・事務費	10,206
・総会会費	52,000	・印刷費	19,150
・BBQ会費	45,000	・通信費	100,000
・預金利息	4	・事業費	293,096
・繰越金	634,363	・雑費	840
合計	1,173,367	・繰越費	688,925
		合計	1,173,367

<平成18年度予算案>

収入の部		支出の部	
・会費(正)	300,000	・総会費	200,000
・会費(準)	200,000	・会議費	30,000
・繰越金	688,925	・事務費	50,000
合計	1,188,925	・印刷費	50,000
		・通信費	80,000
		・事業費	400,000
		・慶弔費	50,000
		・雑費・予備費	328,925
		合計	1,188,925

<平成17年度事業報告>

- ・会報14号発行(平成17年9月)
- ・バーベキュー(平成17年10月23日)
- ・浅野川園遊会ボランティア
(平成18年4月8日・9日)
- 環境美化、宝探しコーナーへの参加
- ・ホームページの更新、充実
- ・学校への補助
ワークショップ、ポーリング大会

<平成18年度事業計画>

- ・会報15号発行(平成18年11月)
- ・ワークショップ(平成18年8・9月)
松任駅前フェスタ2006の灯籠作りと設置
8/20骨組み加工、8/27灯籠制作、9/30灯籠設置
- ・浅野川園遊会ボランティア(平成19年4月)
- ・ホームページの更新、充実
- ・学校への補助
デザインコンペ、ポーリング大会

ほおづえ会からのお知らせ

■事務局移転のご案内

この度、事務局を下記住所に移転する事となりました。

石川工業高等専門学校同窓会事務局
〒921-8031 石川県金沢市野町2-1-17-101
一級建築士事務所 宮川設計室内
TEL 076-244-9360 FAX 076-244-9365

副会長の宮川さんの事務所でお世話いただくことになりましたので、ご了承願います。

■住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿発行しておりません。会報などの連絡・郵送のために会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡下さい。

e-mail: utd@ishikawa-nct.ac.jp (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別になっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

■会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成18年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

緊急告知

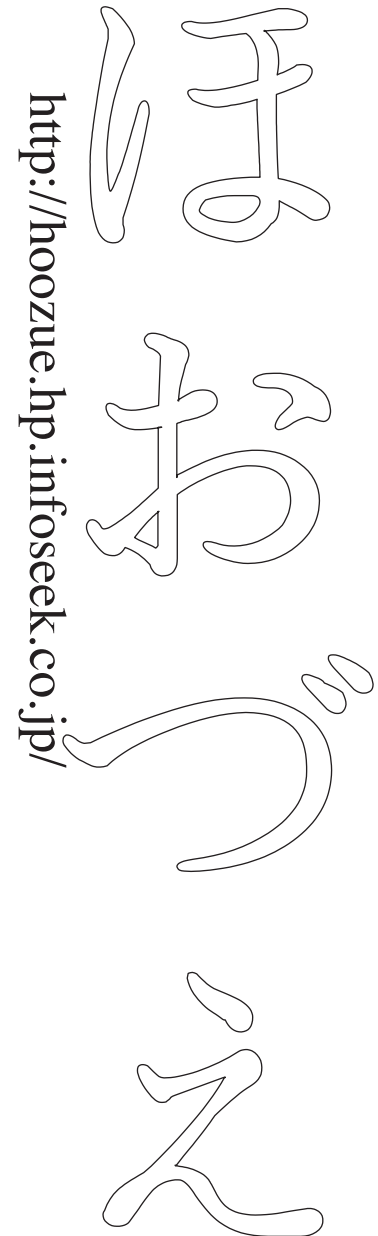
皆様のごところに「人事新報社 名鑑出版部」という会社から「石川工業高等専門学校同窓名鑑」発行に関する申し込みの往復はがき(データ記入欄が設けられている)が到着していることと思われます。

この件に関しましては、石川高専同窓会(全体同窓会)、ほおづえ会(建築学科同窓会)共に全く無関係である事をご案内申し上げます。

最近はやりのインチキ商法の類である事が推定され、他の大学・高専・高校におきましてもHP上などで注意を呼びかけていることを申し添えます。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.15



平成18年11月17日発行

- 企画編集 / ほおづえ会
- 発行 / ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局
(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)
〒921-8031
石川県金沢市野町2-1-17-101
一級建築士事務所 宮川設計室内
TEL / 076-244-9360
FAX / 076-244-9365

学内ニュース

新任教員あいさつ

江口 清

11月から赴任予定の江口です。ゼネコンに37年弱勤め、この度こちらへ来ることになりました。会社では、技術研究所勤務が最も長く約25年、現場その他が残り約12年となっております。技術研究所勤務といっても専門は材料・施工部門で、現場には最も近い部門です。色々な研究開発を担当しましたが、最近では高強度コンクリート、環境関連技術の開発などが主なものです。

現在学生の諸君は、社会に出ると否応無く相当多数の人が現場に出ることになると思います。現場は忙しい、駆がきつい、自由な時間がない、等々先輩等から聴かされていることと思います。でもそれだけではありません、やり甲斐があって楽しみも多いのです。また、どんなに良い材料を使っても、どんなに良い設計がなされていても、建物の品質を最後に決めるのは施工です、これだけは間違いありません。

学生諸君に、施工の面白さと厳しさを伝え、石川高専と建設現場のインターフェイスになることが出来れば、と考えています。よろしくお願ひします。(えぐちきよし)(*10月に御執筆頂きました。)

●第6/7回、建築学科ボウリング大会-第8回は11月下旬予定-



*毎回盛り上がる金木先生による始球式。第6回は見事ストライク!

本企画ボウリング大会は、年2回(4月と11月)のペースで継続し、11月で8回目を迎えます。毎回参加者は、在学生、教員、卒業生を含め100名を少し越える規模です。*参加したい方は4月と10月頃、ほおづえ会 HP をチェック下さい。

- 平成17年 10月 第32回石川県デザイン展出展(入賞2点)
- 平成17年 11月 全国高専デザコン第2回参加(明石高専)
- 平成17年 11月 「建築学科第6回ボウリング大会」開催
- 平成18年 3月 佐藤英代先生退職(1998.6~2006.3)
- 平成18年 3月 ゲートハウス完成(旧守衛室)
- 平成18年 3月 建築棟内トイレ改修工事(1~4階)
- 平成18年 4月 浅野川園遊会ボランティア参加
- 平成18年 4月 「建築学科第7回ボウリング大会」開催
- 平成18年 5月 ベンチの公開展示(MEX 金沢/県民みどりの祭典)
- 平成18年 7月 体験入学実施(開催時期変更)
- 平成18年 7月 建築棟製図室など改修工事(~8月末)
- 平成18年 8月 課題鈴木大拙記念館作品展示(ふるさと異人館)
- 平成18年 9月 津幡町どまんなかフェスタでベンチ公開展示
- 平成18年 9月 第33回石川県デザイン展出展(入賞3点)
- 平成18年 10月 「おかしなお菓子な家づくりコンテスト」開催
- 平成18年 11月上 江口清先生着任
- 平成18年 11月上 第41回紀友祭およびオープン・カレッジ
- 平成18年 11月上 4年生見学旅行(上海・蘇州・杭州)

●デザインコンペティション2006

デザコン2006:今年で第三回を迎える全国高等専門学校デザインコンペティションは都城高専(宮崎県)で、11/17~19まで開催されます。石川高専建築学科からは環境デザイン部門で予選を通過した二木(5年建築:金木研)、構造デザイン部門では、学内予選を勝ち抜いた、牛島・岸・松浦・山森チーム(5年建築:船戸研)が参加します。

●建築学科初!海外へ見学旅行(上海・蘇州・杭州)

今年建築学科四年生が11月に行く見学旅行先は中国です。

石川高専では、昨年度の環境都市工学科の韓国について2回目です。

海外へ行くには、海外の教育機関との交流が条件です。今回交流するのは、杭州職業技術学院、建築学科と関連深いランドスケープ学科、インテリア学科との交流がメインです。出国11/7小松空港、杭州で2泊、上海で3泊し、帰国は11/12中部国際空港(セントレア)です。

*引率は金木先生(担任)、北田先生、内田先生、森原先生です。

●ゲートハウス完成(旧守衛室)



石川高専のHPでも紹介されましたが、40周年記念事業として、旧守衛室の改修工事が3月末に完了しました(Collier+Kumazawa 監修)。この実施案は学内の学生コンペで選出された1等案(南さくら案:4年建築、当時3年生)が原案です。

●建築棟:改修ラッシュ?(建築棟のトイレと製図室)

上記ゲートハウスと同時期に建築棟トイレの改修工事が完了し、この夏休みに3/4階製図室の改修工事も完了しました。(監修:内田先生)

*製図室にも空調が入りました。トイレは1/3階が男子2/4階が女子。



よく見える同窓会“ほおづえ会”

石渡 博(建築学科主任)

社会(学外)にあり、親身になって学校(学科)を側面から支えていただける組織は同窓会しかありません。私はいくつかの同窓会の会員なのですが、“ほおづえ会”ほどにその活動がよく見える組織はないように思います。先日の松任駅前フェスタでの行灯作りに参加した学生たちには、余暇を利用して社会活動をされている卒業生の皆さんと接することで、またそのお手伝いできたことで、教室の授業では体験できない貴重な時間を過ごせたように思います。このような体験から、学生は日頃見ている社会が建築とは切り離せないものであることを無意識のうちにも学んでくれていると思います。“ほおづえ会”には、今後も引き続き学科へのご支援をお願いするとともに、学科としてもできる限り協力をさせていただきたいと思います。(いしわたりひろし)

●専攻科で長期インターンシップ開始

(9月10月11月の3ヶ月間)

石川高専専攻科では、今年度より長期インターンシップを開始しました。一般的に実習形態は、学校で学んだ知識を実践で活用し、確認を行う「調査研究型」、一つの部署で実務を実際に体験する「実務実践型」、受入企業等のそれぞれの部署をまわり、広く浅く知識を得る「職場体験型」が考えられます。これまでの2週間の場合、どうしても「職場体験型」になりがちでしたが、3ヶ月となると、「実務実践型」、場合によっては「調査研究型」が可能です。受け入れ企業として、多くの卒業生にご協力頂きました。ありがとうございました。来年度も継続予定ですので、後輩指導を兼ねて受け入れてみようと思われた卒業生の方は、ぜひご連絡下さい。

●石川高専 HP 建築学科ページもご覧下さい。

建築学科のHPにも New Topic の欄があります。学科での活動の様子が、テキストと画像で紹介されています。

<http://www.ishikawa-nct.ac.jp/>

事業ニュース

●松任駅前フェスタ

＝参加報告＝

再開発の進む JR 松任駅前の、にぎわい創出を目指す「松任駅前フェスタ2006」が今秋、駅前周辺で開催された。昨年10月に初開催された「光と緑あふれるオープンカフェ」を発展させたものとなった。主催は地元の人たちが中心となっている駅前フェスタ実行委員会。

このフェスタに、「ほおづえ会」として、協力することになった。内容は、灯籠作成で、フェスタの最終の土曜日夕方に、おかりや公園から聖興寺までの道路に配置するもの。NPO 法人バリアフリー総合研究所の合同で製作した。

※掲載記事



北陸中日新聞 平成18年8月8日(火)朝刊

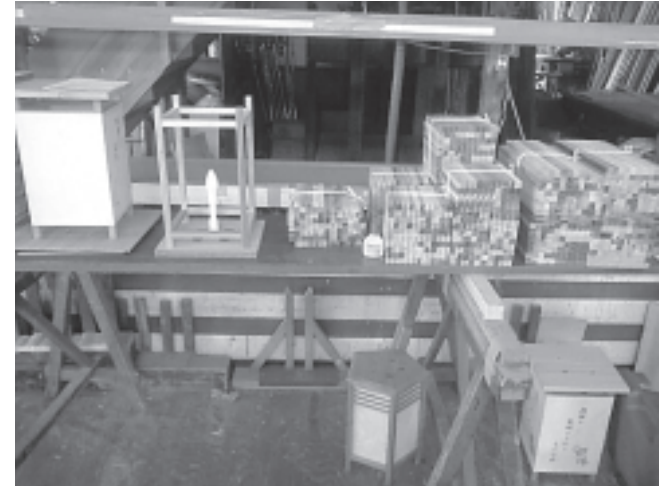
フェスタの開催は3週連続の土日開催。

平成18年9月16日・17日、23日・24日、30日

10月1日に開催された。

灯籠を作るにあたって、まず骨組みの部材を金沢市内の家具工場を借りて製作した。全部を手作りするところが、インパクトがある。多少の事では壊れない構造にしなければならないので、家具屋さんのアドバイスを受けながら、作業は慎重に行われた。

【平成18年8月20日(日)】金沢市内の家具工場



中の灯りは、道路に並べるといことから、電池式の「ゆらぎ」を演出する照明ということで、仏壇用のものを設置することにした。

さて、次はこの灯籠を組み立て、さらに和紙を貼り付け、千代尼の俳句を書き込まねばならない。さすがに筆で書くのは無理なので、パソコンでクリアシートに出し貼り付けることにした。

【平成18年8月26日(土)】NPO・BF 総研



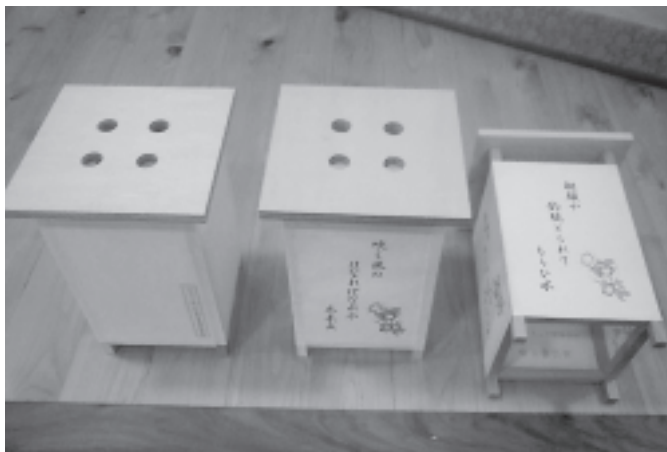
白山市安田町にあるNPO バリアフリー総合研究所をお借りして、灯籠製作にかかった。同窓会役員、高専の先生、学生とともに、ほぼ一日かかった。



皆、真剣な表情で製作している様子が写真から伝わってくる。

完成品には、さりげなく「ほおづえ会」のシールを貼らせてもらった。

【灯籠完成品】80個作成

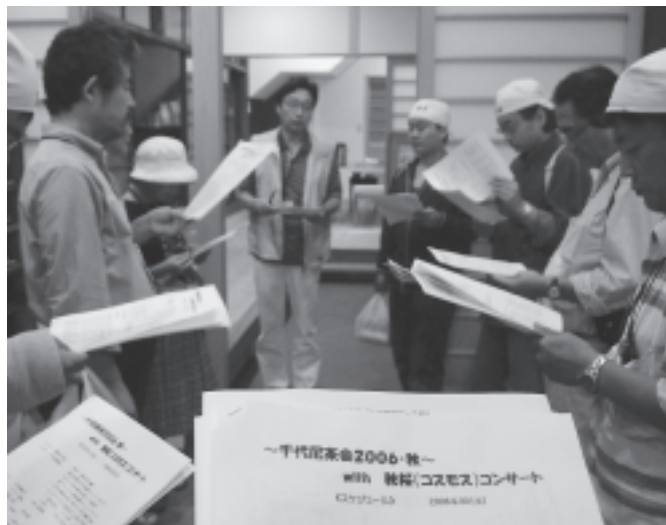


なかなか良い出来である。(自画自賛?)

さて、後は本番当日に、道路に並べてみるのみとなった。どのような幻想的な世界が広がるのか…。

灯籠を並べる日は、聖興寺の境内でピアノコンサートも開催されるので、いい雰囲気になること間違い無しであろう。

【平成18年9月30日(土)】いよいよ配置!



NPO・BF 総研さんの注意事項を真剣に聞き、同窓会役員、先生、学生で灯籠を配置した。



皆で分担し、灯籠の見張り役もした。通行人の話の聞くと「綺麗な灯籠やね～粋やわ～」という声が多く聞かれた。

この灯籠、いくつかは地元の商店街の方にプレゼントした。全体的に個数が少なかったという反省点もあり、来年は個数を増やすので、また製作しなければならない。

この始まったばかりの「松任駅前フェスタ」。ここに同窓会として参加していくことで、同窓会としてはもちろん、学生にも「まちづくり」の原点から考えていける場になればいいと思う。

学校の授業だけでは味わえない、現場の体験や、生の声を聞いていける、そんな場を提供することも「ほおづえ会」の役目ではないかと思う。



●最後に…

建築士という職能がいろいろ世間で取り沙汰されている今、同窓会の役員だけでなく、皆さんの参加をお待ちしております。自分の母校なのだから…。

副会長 13期 山田 雄一